

盛岡 広域振興局長

提出者 みちのくコカ・コーラボトリング株式会社

住所 〒020-0021 岩手県盛岡市中央通一丁目7-25

氏名 代表取締役社長 谷村 広和

（法人にあつては、その名称及び代表者の氏名）

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

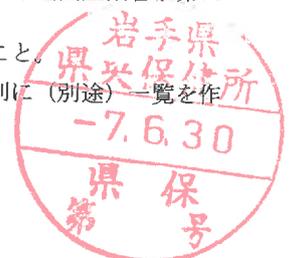
主たる工場又は事業場の名称	みちのくコカ・コーラボトリング株式会社	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	〒020-0021 岩手県盛岡市中央通一丁目7-25	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	4,579 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	151 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
花巻工場	〒025-0037 岩手県花巻市太田29-200-1	4,415 k0
本社	〒020-0021 岩手県盛岡市中央通一丁目7番25号	8 k0
盛岡支店	〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南三丁目6-3	41 k0

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A4）



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(令和6)年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	対前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
	エネルギーの使用量		販売したエネルギー使用量		単位	熱量(GJ)				
	数量 A	単位 B	数量 C	熱量(GJ) D						
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
揮発油(ガソリン)		kL			kL					
ナフタ		kL			kL					
ジェット燃料		kL			kL					
灯油	8.59	kL	328		kL		328	32	18	
軽油		kL			kL					
A重油		kL			kL					
B-C重油		kL			kL					
石油アスファルト		t			t					
石油コークス		t			t					
石油ガス	1,530	t	76,683		t		76,683	4,583	4,234	349
液化石油ガス(LPG)		t			t					
石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³					
液化天然ガス(LNG)		t			t					
可燃性天然ガス		千m ³			千m ³					
その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³					
石炭		t			t					
輸入原料炭		t			t					
原料炭		t			t					
コークス用原料炭		t			t					
吹込用原料炭		t			t					
一般炭		t			t					
輸入一般炭		t			t					
国産一般炭		t			t					
輸入低揮炭		t			t					
石炭コークス		t			t					
コールタール		t			t					
コークス炉ガス		千m ³			千m ³					
高炉ガス		千m ³			千m ³					
発電用高炉ガス		千m ³			千m ³					
転炉ガス		千m ³			千m ³					
その他の燃料		千m ³			千m ³					
都市ガス		千m ³			千m ³					
()										
()										
黒液		t			t					
木材		t			t					
木質原料		t			t					
バイオエタノール		kL			kL					
バイオディーゼル		kL			kL					
バイオガス		千m ³			千m ³					
その他バイオマス		t			t					
RDF		t			GJ/t					
RPF		t			GJ/t					
廃タイヤ		t			GJ/t					
廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t					
廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t					
廃油		kL			GJ/kL					
廃棄物ガス		千m ³			千m ³					
混合燃料		t			t					
水素		t			t					
アンモニア		t			t					
その他燃料()										
小計①							77,011	4,606	4,265	340
産業用蒸気		GJ			GJ					
産業用以外の蒸気		GJ			GJ					
温水		GJ			GJ					
冷水		GJ			GJ					
地熱		GJ			GJ					
温泉熱		GJ			GJ					
太陽熱		GJ			GJ					
雪氷熱		GJ			GJ					
小計②										
電気事業者①	11,629.24	千kWh	(0)		千kWh		100,468	4,675	5,382	-607
電気事業者② ※増設契約している場合使用		千kWh			千kWh					
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh					
自家発電		千kWh			千kWh					
太陽光		千kWh			千kWh					
水力		千kWh			千kWh					
風力		千kWh			千kWh					
その他		千kWh			千kWh					
小計③							100,468	4,675	5,382	-607
合計④=①+②+③							177,479	9,280	9,548	-268

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	1,070	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分		温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	9,280 t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素	
メタンの排出量		t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量		t-CO ₂
六フッ化硫黄の排出量		t-CO ₂
六フッ化硫黄の排出量		t-CO ₂
三フッ化窒素の排出量		t-CO ₂
合計		9,280 t-CO ₂

- 備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
- 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
- 3 エネルギーの使用量の欄には、具内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

2024年度エネルギー使用量:2023年度4,624klに対し、4,579klを達成し、1%削減目標値をクリア

要因:

- ①老朽設備の更新やLED化が進み、基礎的なエネルギー消費が低減
- ②工場・事業所ごとの省エネ推進活動
- ③季節要因の影響が軽微(冷暖房需要の平年並み化により、空調負荷が前年度より安定)

【具体的な取組状況】

○節電への取り組み

・事業所全体での節電対策

(こまめな消灯、照明スイッチへの節電掲示、在宅ワークの推進など)

・拠点別エネルギー使用量の開示、省エネ意識の醸成

・クールビズ・ウォームビズの実行(夏28°C、冬20°C)

○輸送の合理化

・適性な運行車両の配置

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (令和6年度)

自動車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	93 (17)	121,600 ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	278,479 kg-CO ₂	82.18%
軽油	58 (4)	146,057 ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	382,591 kg-CO ₂	91.98%
LPG	()	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気		kWh	0.402 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	151 (21)			661,071 kg-CO ₂	

- 備考 1 保有台数欄の () には、ハイブリッド車の台数 (内数) を記載してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 (平成11年政令第143号) の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況 (進捗状況)】

目標値: 毎年度1%削減

結果: 自動車関連の二酸化炭素排出量 前年比87.6%
 (2023年度754,844kg-CO₂に対し、2024年度は661,071kg-CO₂)

【具体的な取組状況】

主な要因

- ・営業組織の再編に合わせ、営業車両の台数が減少 (対前年▲5台)
- ・事業拠点統廃合により巡行距離は延びているものの低燃費車両の導入により燃料消費量減
- ・テレマティクスによる運行状況のチェック (速度超過、急加速、急減速、アイドリング時間の抑制)
- ・運行状況を毎月全社へ配信し、法定速度での走行を励行

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項